

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	防災行政無線戸別受信機整備事業			会計	款	項目	大	小	
				01	09	01	05	02	61
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	山崎 英彦				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	避難所等及び市民等	意図	災害時における情報伝達手段の多様化を図る。
事業内容	防災行政無線の戸別受信機を災害時に避難所となる公共施設及び自治会等に配置する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成24年6月、12月、平成25年6月に実施した防災行政無線の「聞こえ具合アンケート」により屋外子局のスピーカーによる情報伝達の限界が明らかとなった。 平成24年度は小中学校、保育所等に58箇所配置した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	戸別受信機整備済数		58	297	個	→→	
②	（平成24年度整備）			58	個			
③	（平成25年度整備）			239	個			
④								
指標で表すことができない定性的な成果	災害時に必要な情報を確実に届けることにより、市民の安心・安全に寄与する。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成25年度は公民館、学童クラブ、福祉会館、消防、高校、自治会等239箇所に配置した。			
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度				
事務事業の総計(a=b+c)			8,812,543	27,136,561				
事業費(b)(円)			3,787,943	16,656,061				
うち一般財源			3,787,943	1,253,763				
職員給与費(c)(円)			5,024,600	10,480,500				
人役・職員(人)			0.70	1.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	アンテナ工事に多額の費用が必要となるため、その削減方法を考案する。	③取り組みの課題	防災行政無線の電波が弱く、多くの設置場所で外部アンテナ工事が必要となり、多額の費用が必要となる。
②今年度(H25)に実施した取り組み	公民館、学童クラブ、福祉会館、消防、高校、自治会等239箇所に導入した。 手製のアンテナを製作し、アンテナ工事箇所を減らした。	④今後の改善計画	外部アンテナが必要な施設への工事を引き続き実施する。